

## 海外派遣留学プログラム月間報告書

(報告期間：2017/11/1 ～2017/11/30 )

### 1. 勉学の状況

様々なコースの最終課題の締め切りが迫っており、文献をひたすら読みエッセイを作成するというが続いています。専門用語や基礎的な知識を理解し始めたからか、以前に比べて論文を読むのが楽になりました。エッセイの内容や構成を考えることに多くの時間をかけていきたいため、この変化は自分の中ではかなり大きいです。12月初旬に締め切りのものが多いので、あと1週間で乗り切ろうと思います！！

講義の様子は先月までとあまり変わりはないので、今月はこれまでの授業を通してフィンランドの教育について感じたことを書いていこうと思います。

日本にいるときは、フィンランドの教育は日本のそれとはかなり違うと思っていました。学校で生徒が与えられている自由の度合いが全然違うのではないかと、学校で生徒に教える内容がかなり少なめなのではないか…などと考えていました。確かに違いはありますが、全体的に考えると、そこまで違いは無いように感じました。フィンランドの小中高等学校を何十時間と見学させていただきましたが、学習内容はほぼ同じで、生徒の様子も日本と似ているように思えました。法律レベルでの教育システムの違い(1クラス当たりの人数など)や教育に使われる予算の多さは時々羨ましくなりますが、学校での活動自体に大きな違いはなさそうです。

少し意外だったのが、多くの国で同じような問題を抱えているということです。勉強することの面白さをどのように感じさせられるようにするかや、勉強が苦手な子への対応や、逆に秀でている子への対応、大学で勉強する機会の平等性などは、フィンランドを含む様々な国で課題となっているようです。

いろいろと学校での活動の内容の違いを考えてみたのですが、日本でもフィンランドでも先生によってかなり異なるので、はっきりといえる違いは見つけられません。授業内でのグループ活動の長さや、生徒の創造性を働かせる活動に充てられる時間の違いなど思い浮かびましたが、日本の学校でも同じように行っている、それを目指している教員数は少なくないと思うので、何とも言えない…という結論に至りました。

最後に、これまでに話を伺った先生方のことばで印象に残っているものを最後に挙げておきます。

- ・「生徒の創造性を育てることが大事」(小学校の先生)
- ・「授業の活動の責任は先生ではなく生徒にある。だから質問をできる状況は十分に用意するが、自ら(教員が)声をかけることはない」(高校の先生)

教育についての考えは人それぞれで、文化背景や社会のシステムの影響も受けると思うので、

PISA の結果などを見ただけでその教育システムが良いと言うことは出来ないし、その教育システムを取り入れれば成功するというわけでもないと思います。(そもそも教育システムにあまり大きな違いは無いのかもしれませんが…)ただ、他の国の制度や活動を知ることで見えてくる自国のシステムの特徴はあると思うし、改善点を考えるうえで、多角的に考えられるという意味で、様々な方法、システムを知ることが重要だと思います。まだまだ考えがうまくまとめられませんが、今はとにかく多くのことを学んでいきたいです。

## 2. 生活の状況

今月は趣向を変えて、3か月以上タンペレで過ごして、来る前のイメージと違ったこと、いまだに慣れないこと、面白いと思ったことなどを書いていこうと思います。

### ◎イメージと違ったこと

フィンランド人は無口で内向的だとよく聞いていましたが、そんなことはありませんでした。留学生の私が話しかけてもすぐに輪に入れてくれるし、話もたくさんします。「無口だ」というのは、フィンランド人が静寂を悪いと感じないと思うことからきているのかもしれませんが。日本人よりもむしろおしゃべりな人が多いように思えます。

### ◎慣れないこと

車が右側通行なことに慣れません。道を渡る時に、日本では小さい頃から「右・左・右」の順で車が来ないことを確認するように言われますが、もし日本と同じように確認したら車に轢かれてしまうかもしれません！フィンランドでは車が左から走ってきます！3か月以上経った今でも、よくわからなくなってきょろきょろしてしまう時があります。挙動不審な人になっていそうです…。

### ◎面白いと思ったこと

ベジタリアンがびっくりするほど多いです。フィンランド人の場合は宗教ではなく、環境にやさしいからという理由でベジタリアンになる人が多いみたいです。大学のレストランでもカフェでもベジタリアン用の料理が豊富です。

### ◎考えたこと

日常生活でフィンランド人と会話をする機会はよくあるのですが、ほとんどのフィンランドの人たちが英語を話せるのにもかかわらず、たいていフィンランド語で話しかけられます。なぜ英語で話しかけられないのか不思議に思っていたのですが、最近謎が解けました。ただ単に、私が外国人として見られていなかっただけのようです。

普段は買い物のレジでのあいさつはフィンランド語ですが、先日、分からない事があっ

たため英語で質問した時がありました。その時の店員さんの反応が「英語を話すだね！」だったのです。フィンランドにも移民はいるものの、アジアからの移民はかなり少ないため、外国人として見られていなかったことは予想外でした。

日本にも、海外から来ている人で日本語を話せる人や、生まれは海外だけど育ちは日本だという人の数は少なくないと思います。ですが、多くの人が見た目で外国人だと判断していると感じます。フィンランドで生活してみて、このような判断の方法はあまりよくないかなと思うようになりました。私は、始めは英語で話しかけられる方が楽だったのですが、最近はフィンランド語で話してもらえる方が、外国人として特別扱いされない方が嬉しいです。フィンランド語が話せない外国人の私でもこのように感じるので、その土地の言葉を話せてその場所に長く住んでいる人ならば、なおさら英語で話しかけられるのは悲しいことだと思います。

これは他のあらゆることにもいえますが、一部だけを見て判断するのではなく、様々な角度から物事をとらえようとするのが大切なのではないかを感じるようになりました。また、自分と違うからといって特別扱いするのではなく、誰に対しても平等に接する方が良いのではないかと思います。

<今月のおまけ：ムーミンのキャラクターの名前クイズ！>

ムーミンのキャラクターの名前は、日本語とフィンランド語で（英語でも！）異なります。フィンランド語で、これらのキャラクターは何と呼ばれているでしょうか？



①ムーミントロール



②リトル・ミー



③にょろにょろ

\*答えは下の方に書いておきます！



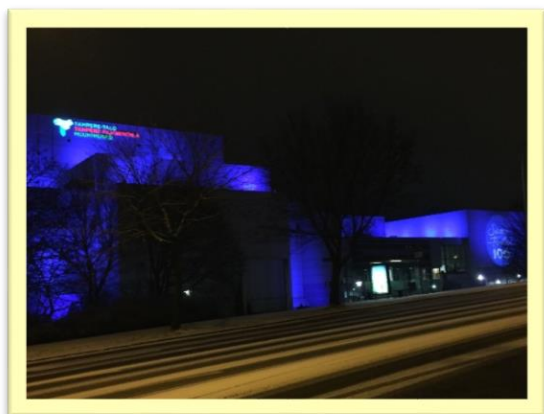
ブルーベリータルト



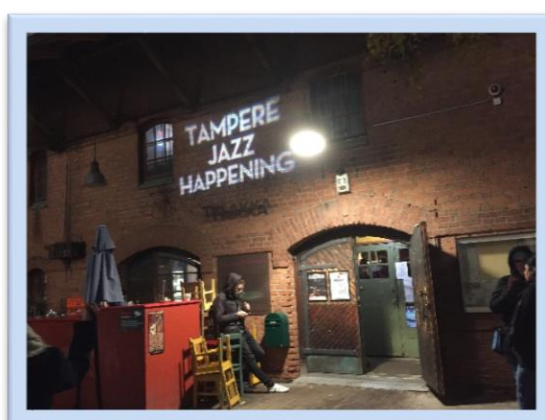
シナモンロール (友達作)



アパートからの景色



朝 8 時でこの暗さです



ジャズのイベントがありました

—おまけのクイズの答え—

① Muumipeikko (ムーミペッコ)

② Pikku Myy (ピク・ムー)

\* フィンランド語で y は日本語の u に近い音になるのでムーになります。

③ 単数形だと Hattivatti (ハッティヴァッティ)

複数形だと Hattivatit